



歩き平和を呼びかけました。
歩いている間、いろいろな人
が注目していました。その後、
被爆六一周年世界大会広島大
会開会式を行って、この広
島でお問い合わせください。

二つ目は、原爆資料館を
見学したことです。資料館の
中は、ひさんで当時の形をあ
らわしていました。

三つ目は、折り鶴和平行進
です。平和行進では、街中を
歩いています。

四つ目は、原爆が落ちた時
の底四四メートルに設置された
○メートルの主排気筒から
噴出する煙が見えることです。
五つ目は、自由行動の時間

戦争のひさんさを改めて分かつた

磯鶴小学校6年 大上拓紘

原水禁大会で、八月三日
から三泊四日で広島に行つ
て感じたことが五つあります。

一つ目は、入澤庄平さん
に被爆体験談を聞いたこと
です。一番印象に残つてい
ることは、一つの爆弾で多
くの人人が死んでしまったこ
とがとてもひさんだと思い
ました。

二つ目は、原爆資料館を
見学したことです。資料館の
中は、ひさんで当時の形をあ
らわしていました。

三つ目は、折り鶴和平行進
です。平和行進では、街中を
歩いています。

四つ目は、原爆が落ちた時
の底四四メートルに設置された
○メートルの主排気筒から
噴出する煙が見えることです。
五つ目は、自由行動の時間



小児腎センター・イザコフスキ院長(左)へ
支援金と支援物資を渡す今村修団長(右)

ドブル市の許可を受け検問所で手続きを済ませ汚染地域内に入る。立ち入り禁止区域となっているが二三村がある。森林二万ヘクタール・農地一万五千ヘクタール・強制移住させられ住居が埋め立てられていた。立ち入り禁止区域内ではあ

るが六、七人の老人たちがのんびり過ごしていた。ペリヨースカは三七〇人が住む村だったがそこでも強制移住に従わざ老夫婦が住み続いているがそれでも来年には家ごと埋め立てられるとなる。

コルホーツの農地も残つて

いるという。そこで労働者はバスで連ばれ六時間交代で労働しているが被爆の日々である。立ち入り禁止区域隣接の周辺地域も汚染地帯に変わり無いが、政府は安全とし居住を認めているのが現実である。

最後にチエルノブリ博物館を視察、モスクワでの原発犠牲者墓地を参し冥福を祈りつつ、二度と同じ過ちを繰り返してはならぬと誓う。

青森県下北半島は原発や使

用済み核燃料貯蔵施設が集中してあるが、六ヶ所使用済み核燃料再処理工場は試運転の最終段階であるアクティブ試験を開始、全国の原発から出された使用済み核燃料棒のせん断・溶解が始められ一五

クリプトン八五の全量放出・太平洋の沖き合い三キロ・海底四四メートルに設置された

※支援品内訳 ◇ 聽診器 一〇本

放出管からは大量的トリチウム・ヨウ素一二九・プルトニウムが含まれる放射性液体廃棄物が時速二〇キロで放出され放射能汚染は確実なものとなっています。

来年八月の本格操業が予定されているが一刻も早く止めなければ、チエルノブリ事故同様に放射能汚染による先天性異常による新生児や癌が多発することは火を見るより明かであろう。

第七次青森県チエルノブリ支援調査団の一員として参

加し、健康被害のみならず心

でも蝕んでしまう核の恐怖しさを肌で感じてきた者の責

任として、六ヶ所再処理工場稼動阻止をはじめ全ての核廃

絶を誓うものです。

六チームに分かれてソフトボ

ル志戸平に移動し、温泉で汗を流し交流会第二部へ。三分

会会長、菊池地本・佐藤盛

（平和労組三八事務局長）

（元衆議院議員）

（社民党青森支部協

（三沢市議会議員）

（自治労県本部書記次長）

（山田清彦）

（逢坂重良）

（佐々木興平）

（平和労組三八事務局長）

（元衆議院議員）

（元衆議院議員）